



<市長選挙への立候補を表明しました！>

私は、3月2日の議会3月定例会議の個人一般質問において、久保田市長に3期目を務めて歴史資料館の事業をやり遂げる考えがあるのかを質し、歴史資料館の問題も含めて現在の市政運営について市民の審判を仰ぐために、10月の市長選挙に立候補することを表明しました。

私は市議会議員の1期目の3年半の間、政党や会派に属さず一貫して市民活動の場を広げ、市民との交流を通して市民の声を聴き、議会での発言に生かしてきました。また、議員として必要な知識の習得や資質の向上のため、多くの研修にも積極的に参加しました。さらに、各自治区の地域協議会など市の附属機関の審議会、協議会、委員会などの会議の多くを傍聴し、市の政策全般について、その決定過程における行政の方針や市民の声の把握に努めてまいりました。その結果、昨年度から2つの委員会の副委員長を務めるなど、議会内での存在感や発言力も増してきていると感じています。

一方、久保田市長による2期8年の市政を振り返ると、人口減少対策を最重要課題と位置付け、そのために産業振興による雇用確保を第一の政策に掲げて運営されてきました。しかし、人口は減り続けまちの活力は失われ、浜田市全体が停滞感に覆われています。さらに、歴史資料館の問題や自治区制度の廃止については、市民の声に耳を傾け市民に寄り添う姿勢は乏しく、市民不在の市政運営を続けてきたと言わざるを得ません。私はこのままの市政運営がさらに続き、浜田市が衰退の一途をたどることを黙って見ていることはできません。しかし、市議会議員としての力では、この浜田の窮地を救うことができないことも、これまでの議員活動で身に染みてわかっています。

以上より私は、今年10月の市長選挙に立候補し、久保田市長のこれまで市政運営の是非を市民に問い、今後の浜田についての道筋を示すことにより、市民の信を問うことを決意しました。今後お示しする私の目指す浜田の未来像や政策をご理解いただき、より一層のご支援をお願いいたします。



個人一般質問

動画はこちらでご覧になれます

(出馬表明は最後の3分間です)



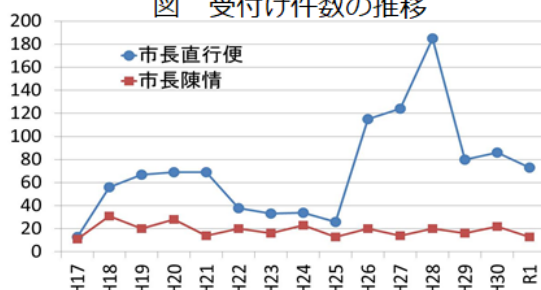
1. 市民の声を市政に反映させる方法について

- 市長直行便：メールやハガキ等で意見を受け付ける
(専用はがき：各支所、公民館等34箇所に設置)
- 市長陳情：市長が団体からの要望を受ける

表 令和元年度の受付件数と内容

種別	件数	主な内容
市長直行便	73	・歴史文化保存展示施設について ・新型コロナウイルスに係るマスクの配布について 他
市長陳情	13	・道路改良・施設整備・業界要望 ・市有地の活用・学校関連 他

図 受け付け件数の推移



問

市長直行便、市長陳情以外にも、市民参画を促す方法として『住民協議会』という手法も有効だが。

答

<地域政策部長>
協働のまちづくりを推進する中で検討する。

2. 歴史文化保存展示施設について

問

整備方針では入館料 300 円で、年間入館者 11,450 人を見込んでいますが、専門検討委員にこの認識はあるのか。

答

<教育部長>

整備方針の基本的な考えは説明しているが、個別の説明はしていない。

問

市民の関心が高い事業なので、市民不在で計画が策定されないよう、中間で市民の意見を聴くべき。

答

<教育部長>

市民の関心が高い懸案なので、途中で市民の意見を聴くのもひとつの方法だと思う。今後、専門検討委員会にも相談し、公聴会の開催などについても検討したい。

市議会トピックス

今回の議会の議案や委員会での報告事項の中で、みなさんの生活に特にかかわる内容や、市議会の活動についてお知らせします。

①【新年度予算が可決されました】

3月議会では総額 372 億円の令和 3 年度一般会計予算が可決されました。その中からみなさんの暮らしに関わりの深い、今年度の**新規事業**をピックアップしました。

○市有施設再編整備事業：老朽化した山村開発センター旭センターを解体して駐車場【1億2,062万円】を整備し、一部を災害備蓄品倉庫に改修する。

○結婚新生活支援事業：定住促進、少子化対策推進のため、結婚に伴う経済的な支援（祝い金 10 万円など）を行い未婚者の婚姻を奨励する。【2,100 万円】

○まちづくりセンター管理運営費：公民館に協働のまちづくりを推進する機能を加え、体制を強化した『まちづくりセンター』の運営費。【3億1,845万円】

○石見まちづくりセンター分館整備：老朽化した後野分館の旧後野小学校講堂の建替工事。本年度は新築設計及び解体工事を実施する。【1,664 万円】

○障がい者福祉事務費：聴覚・言語機能障がい者等が、緊急時に 119 番通報を行える環境を整備する（Net119 緊急通報システム）。【47 万円】

○第 3 子以降の出生に向けた支援：少子化に歯止めをかける支援策だが、議会での協議で祝い金の支給は第 1 子、第 2 子にも拡充することになった。【4,903 万円】

○農業用ハウス整備支援事業：収益性の高い有機野菜や大粒ぶどう等の産地形成のため、農業用ハウスの整備を支援する。【1,200 万円】

○水産業競争力強化漁船導入促進事業：漁業者の漁船取得費用を補助し、漁業の維持・継続、担い手育成を図るとともに、漁業経営の構造改善を推進する。【808 万円】

○学校施設緊急改修事業：学校施設の老朽化で安全に支障をきたす恐れがある箇所について、3 力年計画で集中的に修繕・工事を実施する。【5,000 万円】

②【はまだお魚市場がオープンしました！】

3 月 21 日、旧お魚センターを改修した**山陰浜田港公設市場**（愛称：はまだお魚市場）の『仲買棟』がオープンしました。仲買棟は、同じ水産加工団地にあった公設市場が老朽化したため、仲買業者の移転先として整備されました。競り落とされたばかりの新鮮な魚介類が並び、たくさんのお客で賑わいました。フードコートや地元産品の販売所、どぶろくの製造・販売所が設けられる『商業棟』は、新型コロナウイルスの感染状況を見て、夏頃にオープンする予定です。

地元のみなさんに末永く愛され、観光交流の場としても賑わう施設になるといいですね！



<仲買棟>

・営業時間：8 時～15 時
・休館日：毎週土曜日と市場公休日
（一部店舗営業あり）

夏風亭志ん悟 落語日記

感染防止対策を講じて、高齢者サロンで楽しんでいただきました。

- 1 月 28 日
紺屋町『藍のつどい』
- 1 月 30 日
杉戸町『ほのぼのの広場』
- 2 月 13 日
片庭町『まちサロンかたにわ』



SNSで情報発信しています！



議会活動のトピックスは
Facebook と Instagram で



リアルタイム
情報は Twitter で



日々の議員活動
は LINE で